

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。



齋藤 聡 先生

病は気からはホントです！

シリーズ まちのドクター先生！

みんなを元気に！

… 過ぎたるは猶及ばざるが如し …

シリーズの5回目はみゆき整形外科クリニックの齋藤聡先生です。バイタリティーあふれる先生です。

プロフィール

宮城県生まれ。仙台二高から山形大学医学部を卒業後医師となり、南陽市立総合病院、市立酒田病院、上山総合療育訓練センター、県立河北病院などで勤務。アメリカにも留学しました。帰国後もほぼ1年ご

とに転勤を繰り返して、引越し業者にも頼られるほどでした。

増加する山大病院の患者を受け入れるため開設された蔵王みゆき病院へ勤務後、縁あって平成9年にみゆき整形外科クリニックを開業しました。

医者になるきっかけ

子どもの頃よく熱を出して、医者にかかるたびに、母から「医者はいいい職業だよ」と言われ続けその気になりました。小学生の時には医者になると決めました。

最近気になります

高齢化が進み、骨粗しょう症になる人が増えています。80代で4割が骨粗しょう症とのデータもあります。子どもたちもケガをしやすくなっています。

過ぎたるは猶及ばざるが如し

「筋肉を付けないと寝たきりになる」と言うのは間違いです。筋肉は、常に運動している人も運動していない人も年齢と共に落ちていきます。運動のし過ぎはかえって弊害となり、ケガをしやすくなってしまう。

体に悪影響のある活性酸素も、運動をし過ぎると溜まってしまいます。

医学の発達で「病は気から」というのが証明されてきました。

ある研究では、乳がんの手術をした人の生存率が「前向きな人」が最も高く、「絶望の人」が最も低いという結果が出ました。

私の患者さんも、前向きな人はケガの治りが早いのです。

向きな人はケガの治りが早いのです。

今後も、まじめに町を良くするための取り組みをお願いします。

町へ望むこと

看護師不足を解消するためにも、町内に看護学校を創設してはどうでしょうか。多くの若者が町に通い、活性化するのはないでしょうか。

取材を終えて

まさに「目からウロコ」の話をしたくさんお聞きしました。何事にも、前向きな心で過ごしたいものです。(笹原・佐々木)



編集後記

社会の高齢化に合わせるように、このところ、農業施設や公民館などの公共施設、住宅などの老朽化も目立つようになりました。人の営みを続けていくには、次の世代に地域がしっかりと受け継がなければならないですね。それには人口流出への歯止めが必要です。それぞれの地域にはそれぞれの特色があり、まだ発掘されていない地域資源もたくさんあると思います。それらを再発見し、地域の人材とともにフル活用しながら、若い人たちが地元に残り、楽しく暮らせる地域づくりができることを願います。(佐々木)

広報委員

- 委員長 奥山 勝吉
- 副委員長・編集長 佐々木 誠司
- 委員 石川 重二
- 委員 笹原 俊一
- 委員 渡部 善美
- 印刷 (有)梅津印刷

